こたえ

なぞ その５

安土城のまわりに他の城はなかった？

信長が安土を支配するまでの近江国（今の滋賀県）は、２人の有力な武将によって支配されていました。

そのため、近江国には安土城が建てられるより先に、これらの武将の一族によって建てられた大きな城がありました。

やってみよう

１．信長が安土城をつくる前にあった、２つの城の模型と解説を見ながらクイズに答えてみよう。

①　ア・イの２つの城の模型を見て、城の名前とその持ち主を書きこんで、どこにあったのか下の地図の中から選んでみよう。



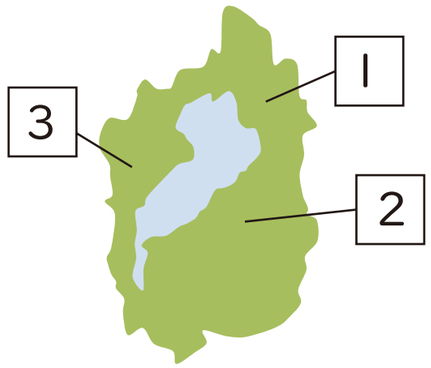
ア：観音寺城　六角氏　　場所　２　ばん



イ：小谷城　浅井氏　　場所　１　ばん

近江（滋賀県）の南半分（江南）と北半分（江北）をそれぞれが支配していたんじゃ。





②　２つの城はどんな条件の場所に建てられたか選んでみよう。

ア．平らな広い場所　　イ．なだらかな丘の上　　ウ．高い山の上

城の跡からは、茶碗などの食器も見つかっているぞ。
城の中でも、戦ばかりしているのではなく、ごはんを食べたり眠ったり、日常生活があったんじゃ。



③　解説を見ながら穴埋めクイズに書きこんでみよう。

・鎌倉時代以降、①　源平　合戦で活躍した②　佐々木　一族が近江を支配しました。
・一族はやがて③　京極　氏・④　六角　氏・⑤　高島　氏・⑥　大原　氏などに分かれ、うち２つが特に力を持っていました。
・近江の南半分（江南）では④氏が大きな力を持ち、近江の⑦　守護　に任命されました。
・一方、北半分（江北）では③氏が大きな力を持ちます。戦国時代に入ると、③氏の家臣だった⑧　浅井　氏が、③氏に代わって力を強めました。

④氏、⑧氏らによる戦いが続く中、信長が上洛（今の京都市へ行くこと）を目指して近江に攻めてきました。
信長は永禄11（1568）年に④氏を追い払い、天正元（1573）年に⑧氏を倒して、他の力のある武将もおさえて近江を制圧しました。



戦国時代と聞くと、城や戦ばかりに注目してしまいがちじゃが、支配者にとっては、城を建てることとセットで、商人や職人たちがくらす城下町を築くことも重要だったんじゃ。